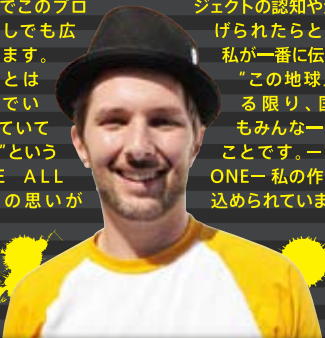


2011.10.9
RIBBON FOR JAPAN
CHASE
LIVE PAINT EVENT

今回、被災地を回って色んな人たちと会って思ったのは、希望があるということ。個人的には悲しいという思いもあるが、この土地のみなさんが新しいものを創っていこう、この悲しみを乗り越えようとしているのを感じ、自分も勇気づけられました。私は仙台の街にカラフルなペイントをすることで皆さんに楽しんでもらいたいと思っています。最近のアメリカではこの度の震災における影響について報道していません。ここで震災がもたらした影響について、メディアが改めて取り上げ、アメリカの人々にもその状況について、再認識してもらうことが必要だと考えています。また、それを支援する一つとしてRibbon for Japanワッペンを配っています。小さなことですが、これでこのプロジェクトの認知や活動を少しでも広げられたいと思っています。私が一番に伝えたいことは「この地球上に住んでいる限り、国は違っていて、もみんな一つである」ということです。—WE ARE ALL ONE— 私の作品に込められています。



Chase

出身国はベルギー。17歳でL.A.に渡米後、L.A.を中心に世界60カ国以上でPAINTARTを描く、「Italian Vogue」では世界の好きなストリート・アーティスト5名のうちの1人に選ばれており、今やデザイン分野で国際的に大きな影響を与えている。フーマ、アディダス、リーバイスなど様々な企業とコラボした活動も注目されている。



2011.10.9 RIBBON FOR JAPAN **潜入レポート!**

未曾有の震災から約7カ月。錦ヶ丘のヒルサイドショップス&アウトレット特設会場にて『Ribbon for Japanプロジェクト』『TRIBUTE ~We are all one by CHASE』が開催された。被災地をライブペインティングで元気にしたいというChaseの想いから、実現したこのイベント。地元からはDJ Mu-R (GAGLE)、ヤンキーコートを主軸に活躍する在仙DJとシンガー、ROCK FOOT KIDS DANCERS達が登場し熱演を繰り広げた。途中Chase自らが、お客さんの私物にペイントをしてくれるというサプライズも! イベントの最後には東京よりゲスト参加したDJ BAKUのプレイに合わせて参加者全員がステージ上でダンス。『Ribbon for Japan』の白いリボンのワッペンが、たくさんの人の手に渡され、音楽とアートを通じた、国境を越えた素晴らしいチャリティイベントは幕を閉じた。

DJ BAKU **DJ Mu-R** **DJ MONTA**



このチャリティイベントに参加し、昔からの仙台の仲間やChaseにも出会えたことを嬉しく思います。自分の作り出す音楽で人の心が強くなるなら、明るくなるのなら...という思いが今の活動の原動力になっています。みんなと一緒に頑張りたいです。



今回、被災地の為にChaseやBAKUくんが仙台に来てくれたことをありがたく思います。問題が山積している状況ですが、今後も仙台代表のDJとして、音楽活動を通じ、被災地の現状を伝え続けていきたいと思っています。



地震から半年以上の時間が経過しましたが、様々な人々が未だに仙台を訪れて、被災地へのサポートをしてくれる事を非常に感謝しています。DJ/音楽という形で、このチャリティイベントに参加できたことを嬉しく思います。



Ribbon for Japan プロジェクトとは?
米国カリフォルニア州 L.A を拠点として、グローバルな AWARENESS (アウェアネス) キャンペーンの一環として、ファッション、アート、音楽、エンターテインメント分野のプロが集めた組織「FANE」により創設。本プロジェクトは東北地方太平洋沖地震で被災された方々と日本が現在直面している継続的な窮状と多くの切迫した課題に対し、国境を越えた支援を目指して、多くの人々と企業と連携し、一日も早い日本の復興を支援することを最大の目的としている。